

「高津まるごと次世代育成プロジェクト」

～地域が育つ柱の構築を目指して～

益田市高津公民館

1 高津地区の概要

○教育施設

- ・ 4 保育園(所)、小学校・中学校・高校
高等技術校

○芸能・文化

- ・ 石見神楽（2 社中）
- ・ ホーランエー（8 月）
- ・ 柿本神社八朔祭（9 月）
- ・ やぶさめ行事（9 月）
- ・ 高津地区市民体育大会（1 1 月）
- ・ 高津地区文化展（1 1 月）
- ・ 柿本神社節分祭

○地区データ(2018.1 月末現在)

- ・ 人口：8,404 人
- ・ 世帯数：3,795 世帯
- ・ 高齢化率：34.6%
- ・ 自治会数：32 自治会

清流高津川や県立万葉公園など自然環境が豊かであり、かつ国道 9 号線と 191 号線に挟まれ、大型商業施設も多く交流人口の多い地区である。また、柿本神社や土木遺産の高角橋などが、子ども達の遊び場であったり、通学路であったりと生活の中に歴史を感じられる地域である。

2 事業の趣旨

充実した生活を送ることができる反面、地域内のつながりは希薄化している。その中で、子ども達の豊かな育ちの環境づくりに取り組む大人や団体が増えている。その団体同士をつなぎ、お互いの価値を高めた

い。また、近年、公民館活動に協力してもらっていた若者の中から「自分達の特色を活

かした事業をやってみたい」と企画が持ち込まれた。この若者たちが地域リーダーとなるよう支援したい。そして地域の頑張る大人の背中を子ども達に見せることで、ふるさと愛を醸成したい。

地域の絆を再構築することを目指し、大人も子どもも一緒に成長していくための土台づくりを目的としている。

3 具体的な取組内容

① 伝統芸能継承の新しい形

地区内の神楽社中の若者が、翌日に開催される公演会の舞台づくりを子ども達と一緒に行うワークショップ「神楽を創る」を開催した。観る・舞うだけでなく、そこに至るまでの経緯を体験することで、彼らなりの方法で石見神楽の魅力を伝えた。



② 放課後は出会いの場

スポ少所属の 6 年生児童が、下級生を対象に運動あそびのプログラムを企画・実施する「高津みらい ゆめプロジェクト」を開催した。若手コーチ達は 6 年生の企画を支援し、この企画の発起人である監督はその若手コーチ達を支援した。この企画を通

じて、「スポ少は地域で子どもの育ちを支える場である」ことを伝えた。



③ 小中学生企画会議

地域の大きな行事であるウォーキング大会において参加者をもてなすため、小中学生が「おもてなし実行委員会」を立ち上げて会議を重ね、参加者に軽食を提供した。支援する大人たちは会議で出された案を否定することなく、子ども達の主体性を大切にした。



その他、

- ・地域自然体験
- ・親学
- ・若者からの発信
- ・中高生企画
- ・異世代間交流

の5テーマに沿った13事業を行い、約800名の参加の中、約30名が参画者として主体的に事業に関わった。

4 評価と成果

若者から「やってみたい」の声が上がり、彼らの手で実現させることができた。今まで地域活動を担ってきた一つ上の世代の大人たちは、それを応援し、価値づけをした。そして子どもたちはイキイキと活動する若者たちと出会い、今の自分達にできること・やりたいことを、大人の協力を得ながら実現させた。

各世代が自分の役割を無理なく担い、各々の特色を活かした地域参画の仕組みが出来つつある。次世代リーダーが育ち、世代を越えた人と人とのつながりが広がっていることを嬉しく思う。

5 今後の課題と見通し

○任せ合える地域に

- ・地域のために頑張る団体同士が、競うことなく、任せ合える風潮にしていかなくてはならない。そのパイプ役を公民館が担えるよう、対話を重視したい。

○主体者の想いを地域へ

- ・事業内容ではなく、そこに至る経緯や想いを、主体者の言葉で丁寧に地域へ下していきたい。それを公民館が広く発信していきたい。

(文責：主事 城市江梨子)